学校番号	T3003

平成３１年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	2	年次	2
使用教科書	光村出版「美術Ⅰ」						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・これまでの美術の授業で学んだことを発展させて、制作・表現することを楽しみ、様々な場面にある芸術作品に興味を広げましょう。
・様々な技法を体験し、様々な道具を使いこなし、自分らしい作品を制作ことが出来るようになることを目指しましょう。
・最後まであきらめず、作品を作ることで達成感を味わいましょう。

2　学習の到達目標

・美術の幅広い創造活動を通して美術体験を豊にし、様々な技法に関心・興味をもたせる。
・感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力をのばす。
・美術作品の作成過程に創造・自分らしさを表現する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想と能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の歴史と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	美術作品の美しさや楽しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	作品を表現するために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	創造的に美術作品の作成に取組み、作品の中に自分らしさを表現しいる。
評価方法	出席 観察 自己評価 課題	出席 観察 自己評価 課題 作品	出席 観察 自己評価 課題 作品	出席 観察 課題 作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	基本演習	○鉛筆デッサンなど描写基礎演習	○		○	○	a:鉛筆を使って、色の強弱や明るさの違いが作れることがわかる。 b:物の形を、紙の上に表現する時のルールを理解している。 c: 最後まであきらめず、完成することができる。。 d:目に映るものを紙に表現すること。	出席 観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 課題 作品
	平面作品①	○アクリル絵具による平面構想 作品製作	○	○	○	○	a:絵の具の使い方を理解し、作品制作をしている。 b:色の関係を理科し、紙の上に自分の作品を表現しようとしている。 c: 最後まであきらめず、完成することができる。 d:作品に自分の表現を取り入れて表現しようとしている。	出席 観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 課題 作品
後期	木彫作品	○平面で立体を構成する ・ネームプレート制作	○	○	○	○	a:立体の作り方を理解し、形作ることができる。 b:基本的な立体の構成を理解し、形つくろうとしている。 c: 最後まであきらめず、完成することができる。 d: 自分の考える形を作ろうとし、表現できる。	出席 観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 課題 作品
	平面作品②	色紙による模様の制作	○	○	○	○	a:色紙の置き方による変化を理解しようとしている。 b:作ろうとする形に、どう色紙を使うかを考えている。 c:最後まであきらめず、完成することができる。 d: 自分の考える形を作ろうとし、表現できる。	出席 観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 課題 作品

※ 表中の観点について a:美術への関心・意欲・態度 b:美術の表現の理解
c:美術の表現の技能 d:創造的な表現と取組み

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。